

講師用ノート

「SDGs 達成に向けたエシカル消費－みんなの買い物が未来をつくる－」



Contents

1. 教材の目的.....	1
2. 講座の全体像.....	2
3. 講座シナリオ(例).....	4
4. 講座実施の際の留意点.....	13

1. 教材の目的

本教材は、消費者教育講師が、小学校や中学校において消費者教育出前講座で活用することを想定した教材です。

小中学校の学習指導要領の前文には「これからの学校には、(中略)一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」と記されています。

本教材では、持続可能な社会の創り手となるために必要な「エシカル消費」を具体的に学ぶことをねらいとしています。

2. 講座の全体像

時間:45分程度

ねらい:持続可能な社会を実現するために必要なエシカル消費について、身近な買い物や企業の取組を通して具体的に学びます。

時間	主なスライド	内容
導入 (5分)	 (スライド2～7)	導入 フォトランゲージを通して、自分たちの買い物と世界や自然、環境とのつながりをイメージしてもらいます。 それが持続可能な開発目標の達成にも関連することを伝え、講座のテーマを示します。
展開1 (20分)	 (スライド8～31)	1. チョコレートでエシカル消費 ①みんなが食べているチョコレートの生産工程と原材料であるカカオの生産国を確認した後、生産国の写真を提示し、こどもが働いていることに注目します。 ②ガーナの児童労働について理解を深めます。 ・児童労働の割合のクイズ ・1日の生活費のクイズ ・文字が読めない現実の体験 ③国際フェアトレード認証ラベルについて解説します。 ※そのほかのフェアトレード商品は時間により調整 ④フェアトレードの商品を選ぶことがエシカル消費であることを確認します。
展開2 (17分)	 (スライド 32～43)	2. 魚やそのほかでエシカル消費 ①まぐろ等の漁獲量の推移のグラフから魚の持続可能性の問題に気づき、海のエコラベルについて解説します。 ②そのほかのエシカル消費の目安になるラベルについて、各ラベルの意味とどんな商品に付いているのか、講師がラベル商品を持参して紹介します。場合によっては児童が各自興味関心のあるものを調べます。 ※調べ学習をしっかり行う場合は、他の時間を調整 ③静岡県のエシカルな取組をしている企業を紹介し、このような企業を応援することもエシカル消費であることを伝えます。 ※全部の企業の紹介でなくてもよい
まとめ (3分)	 (スライド44～46)	3. 持続可能な未来のためのエシカル消費 エシカル消費が持続可能な社会につながることを振り返り、学校や家庭における日頃の身近な行動につなげます。

■ 講座時間や内容の調整について

全てのスライドを授業で活用すると、時間が足りなかったり児童生徒が考える時間が確保できなかったりします。講座の時間や学校の取組状況、学校のねらいなどに沿ってスライドは抜粋して調整をしてください。

【時間がある場合】

フェアトレード認証ラベルがついているほかの商品を調べたり、エシカルなラベルの付いた商品を持参したり、教室でエシカルな商品や取組を探したりして調べ学習に取り組むことができます。

【時間がない場合】

フェアトレード認証ラベルがついているほかの商品の紹介や海のエコラベルやほかのラベルの紹介、企業の取組の紹介を取捨選択して調整をしたり、学校のねらいに沿ってどこかにフォーカスしたりして実施してください。簡単にしても良いスライドには  のマークをつけていますので参考にしてください。

3. 講座シナリオ(例)

スライド	シナリオ・進め方のポイント
	<p>皆さん、こんにちは。 私は静岡県消費者教育講師の「●●」です。 本日は「SDGs 達成に向けたエシカル消費-みんなの買い物が未来をつくる-」についての授業です。みんなの買い物が未来をつくるとはどういうことだと思いますか。このことを〇〇小中学校の皆さんと一緒に考えます。</p>
	<p>【フォトランゲージ】このイラストは何を表していると思いますか。 進め方のポイント ・児童生徒に思ったことを発表してもらい、買い物と地球環境や自然、人などがつながっていることをイメージできるようにします。意見が出にくい場合は、「この線はということかな？」など声かけをします。</p>
	<p>ではこのマークは見たことありますか。そうです。SDGs です。今地球上ではたくさん問題が起きていて、それを解決するために国連で決められました。このSDGsの達成(地球の問題の解決)には、地球とつながっている私たちの買い物がとても重要です。</p>
	<p>そこで実践したいのがエシカル消費です。 エシカル消費とは人、社会、地域、環境のことを考えてするお買い物です。</p>
	<p>例えば、マイバックやマイボトルを使えば、資源のむだを省くことができるし、ごみもでません。環境のことを考えたエシカル消費です。 進め方のポイント 教室で児童・生徒がマイボトルを使用していたり講師が持参していたら、それを紹介をしても良い。</p>

<p>ネットのお買い物で エシカル消費</p> <p>働く人にとっては？</p> <p>環境にとっては？</p>	<p>最近ネットでのお買い物が増えました。その際、配達してもらったのに留守で荷物を持ち帰ってもらうことが多く問題になっています。働く人にとってはどうかな。手間も時間もかかります。環境にとってはどうでしょう。車で運ぶからエネルギーもプラスで必要です。どうしたらよいでしょうか。必ずいるときに配達してもらったり、宅配BOXを設置することで人や環境にやさしくなります。これもエシカル消費です。このようにエシカル消費は身近にたくさんあります。</p>
<p>エシカル消費</p> <p>買い物では具体的に どうしたらよいのかな？</p>	<p>そのような身近なエシカル消費の中でも、「みんなの買い物が未来をつくる」に注目して、具体的にどうしたら良いのか考えます。</p>
<p>チョコレートで考えてみよう！</p>	<p>まずチョコレートで考えてみましょう。</p>
<p>チョコレートの原材料はカカオ</p>	<p>チョコレートの原材料はカカオです。このカカオは、どのようにしてチョコレートになるのでしょうか。</p>
<p>チョコレートができるまで</p>	<p>カカオの木から実を収穫したら、割って豆を取り出し発酵、乾燥して、焙煎という工程でチョコレートの香りを出し、更に、さまざまな工程を経て私たちの手元にチョコレートとして届きます。</p>

<p>日本のみんなが食べている チョコレートの原材料 「カカオ」は どこで生産されているのかな？</p>	<p>では日本の私たちが食べているチョコレートの原材料「カカオ」はどこで生産されているのでしょうか？</p> <p>進め方のポイント 児童生徒にどこの国だと思うかまず聞いても良いです。</p>
<p>カカオの生産国に色を付けよう</p> 	<p>白地図を出してください。私たちが食べているカカオの生産国を地図上で確認して色を付けてください。日本への輸入量が最も多いのはガーナ、次いでエクアドル、ベネズエラ、コートジボワール、ドミニカ共和国です。</p> <p>生産国を見て何か気がついたことはありますか。カカオは、年平均気温 27℃以上(最低気温 18℃以上)となる北緯 20 度～南緯 20 度の限られた地域で栽培されます。カカオベルトともいわれており、日本から遠い熱帯の国でつくられています。</p>
<p>カカオの生産現場を見に行ってみよう！</p>	<p>では、日本のカカオ豆の輸入量が最も多いガーナの生産現場を見に行ってみましょう。</p>
	<p>何をしているのでしょうか？何か気がついたことはありますか。</p> <p>左の写真:カカオ豆を運んでいる、こどもが運んでいる 右の写真:なたでカカオ豆を割っている、こどもが作業をしている</p> <p>進め方のポイント 児童生徒に聞いてみましょう。こどもが働いていることに気づかせます。</p>
<p>児童労働</p> <p>こどもの教育機会や健全な成長を妨げる労働のこと</p> <p><small>ILOの定義</small></p>	<p>「こどもの教育機会や健全な成長を妨げる労働のこと」を児童労働と定義しています。カカオの生産現場の様子は、まさしく児童労働です。</p>
<p>ガーナの7歳から14歳のこどものうち働いているこども（児童労働）はどれくらいいるのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1000人に3人程度 ② 100人に3人程度 ③ 10人に3人程度  <p><small>出典：World Development Indicators, July 2021.</small></p>	<p>ではここでクイズです。ガーナの7歳から14歳のこどものうち、働いているこどもはどれくらいいるのでしょうか？</p> <p>①1000人に3人程度、②100人に3人程度、③10人に3人程度 答えは10人に3人です。多くのこどもたちが働いていて、学校に行けない子も多くいます。</p>



なぜ子どもが働いているのかな？

ではなぜ子どもが働いているのでしょうか。

進め方のポイント

児童生徒に聞いてみましょう。お金がないから、働き手が足りないからなど引き出して1日の生活費につなげます。

ガーナのカカオ農家の1日の生活費は一人どれくらい？

ガーナ 1.1ドル/日
(日本円で約170円)



国際貧困ライン 3ドル/日
(日本円で約460円)



Savio Platform for Sustainable Cocoa 2019

出典 World Bank Group

本当にお金がないのかな。ガーナのカカオ農家1日の生活費は一人1.1ドル、日本円でおよそ170円。少ないですね。世界銀行は、生活するのに最低限必要なお金を1日3ドル、日本円でおよそ460円と設定しています。それよりもはるかに少ないです。

参考)ガーナのカカオ農家の現状

カカオ農家のカカオの生産活動によって得られる収入が低いという問題があります。家族単位の小規模な農家がほとんどで、カカオ豆の生産には、収穫から、発酵、乾燥までのさまざまな工程に多くの労働力が必要となります。小規模な農家は労働者を雇うことができないため、子どもも重要な労働力となっています。(ACEより一部抜粋)



学校にいけないと何が困るかな？

学校にいけないと何が困るのでしょうか。

進め方のポイント

考える間をとったり、児童生徒にきいてみてもよいでしょう。計算ができないや、文字が読めないなど意見を引き出し、それができないと何が起きるのかイメージして次につなげましょう。

病気で薬が必要！薬はどっち？



では体験してみましょう。病気で薬が必要です。薬はどっちでしょうか？みんなに聞いてみましょう。(みんなに聞いてから答え合わせをします)

これはアラビア語です。文字が読めないと何が困るのかを体験してもらいました。どう思いましたか。このように文字が読めないと命の危険さえもあります。

病気で薬が必要！薬はどっち？



参考)学校にいけないことによる弊害

おとなになった際に行政サービス等の情報にアクセスできない、農薬の正しい使い方がわからないといったことがあります。また、幼いころから負担の大きい肉体労働を続けた結果、早くに体を壊してしまい、自分の子どもを働かせるというような世代を超えた悪循環に陥ってしまいます。(ACEより一部抜粋)

<p>このままでよいのかな？ わたしたちに できることはないのかな？</p>	<p>このままで良いのでしょうか。チョコレートを食べているわたしたちに出来ることはないのでしょうか。</p>
<p>国際フェアトレード認証ラベル</p> 	<p>この問題を解決することができる方法の1つが、この国際フェアトレード認証ラベルです。見たことがありますか。価格も高いことが多いです。このチョコレートは何が違うのでしょうか。</p>
<p>フェアトレード：公正な貿易</p>  <p>カカオをちゃんとした価格で買い続ける 地域の生活を支えるためのお金 (フェアトレード・プレミアム)</p>	<p>フェアトレードとは、公正な貿易のことです。特徴は、農家が生産したカカオをちゃんとした価格で買い続けること。買い続けることで農家は安心して生産することができます。さらにカカオの代金にプラスして支払う、地域の生活を支えるためのお金、フェアトレード・プレミアムがあります。だから価格も高くなります。</p> <p>参考)フェアトレード・プレミアム 代金に上乗せして組合や農協など組織に支払われるもので、組合や地域コミュニティの経済的・社会的・環境的開発のために使われるお金です。何に使うかは生産者が話し合いで決めます。</p>
<p>11月28日 浜松フェアトレード記念献立 フェアトレードのごまで「大豆と煮干しのごまがらめ」！</p> <p><small>浜松市は、商社、市民団体、事業者と行政が一体となり、まろくろみでフェアトレードを推進する自治体として、2017年11月に国内で4番目のフェアトレードタウンに認定されました。</small></p>  <p><small>出典 浜松市立丸帯中学校 HPアップ</small></p>	<p>浜松市は日本で4番目にフェアトレードタウンに認定され、街ぐるみでフェアトレードを推進しています。それを記念して毎年「浜松フェアトレード記念献立」の日があります。この写真は、フェアトレードのごまを使った「大豆と煮干しのごまがらめ」です。</p>
<p>ほかにはどんな商品に 国際フェアトレード 認証ラベルが つけられているのが調べてみよう</p>	<p>国際フェアトレード認証ラベルがついている商品はチョコレートやごまのほかにもあります。何かあるか調べてみましょう。</p> <p>進め方のポイント ワークとして取り組んだり、講師が紹介をしたり、宿題にしてもよいでしょう。わかちあいプロジェクトのサイトわかちあいプロジェクト 公式サイトでは多くの商品が紹介をされており、出典を明記することで使用可能です。気になった商品を選んで調べて発表することもできます。時間に合わせて検討してみましょう。</p>

バナナ



エクアドル南西部エルイロ州にて栽培。品種と熟を厳密に、手摘みから有機栽培法（農薬を原則にない）で生産しています。

出典：わかちあひプロジェクト

例えば、バナナ、はちみつ、サッカーボールなど、みんなにとって身近な商品にフェアトレードのラベルがついています。他にもいろいろあるので是非お店に行ったら探してみてください。

はちみつ



アルゼンチンの中経路の山梨畑で生産されています。フェアトレードに準じ、ミツバチの健康を考慮する旨を確保したり、花粉アレルギーを心配する方にも配慮しています。

出典：わかちあひプロジェクト

サッカーボール



パキスタンのシムラット地区で生産されています。労働賃金を高く、児童労働をなくすための働きかけを行っています。フェアトレードの取り組みが実現しています。

出典：わかちあひプロジェクト

エシカル消費



消費者が選ぶ

生産者が安心して生産を続けることができる

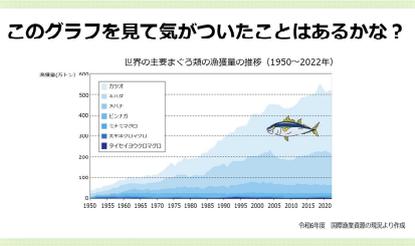
子どもが学校に行くことができる

チョコレートから国際フェアトレード認証ラベルについてみてきました。チョコレート以外にもラベルがついている商品がありました。私たち消費者が、フェアトレードの商品を購入することで、生産者が安心して生産を続けることができ、子どもも学校に行くことができます。

魚で考えてみよう！



今度は魚で考えてみましょう。



これは世界の主要まぐろ類の漁獲量の推移です。このグラフを見て何か気がついたことはありますか。

進め方のポイント

児童生徒に聞いてみましょう。ペアワークでもよいです。世界で漁獲高が増え続けていることを読み取り、その結果まぐろやかたお資源が減ってしまう可能性につなげてください。

参考) https://www.kokushi.fra.go.jp/R06/R06_03_tunas-R.pdf

<p>まぐろやかつおが海からいなくなる！</p> 	<p>獲る量が増えたらまぐろやかつおは海からいなくなってしまう、食 べることができなくなるかもしれません。</p>
<p>持続可能な漁業</p>  <p>海のエコラベル MSC認証 持続可能な漁業でとられた水産物や 水産加工品につけられる</p> <p>獲りすぎないのはもちろん、 他の生き物も獲らないよう工夫 したり環境を傷つけないよう にしたりしていますよ！</p> <p>写真提供 共和水産株式会社</p>	<p>そこで取り組まれているのが海のエコラベル MSC 認証です。持 続可能な漁業でとられた水産物につけられています。見たことあり ますか。獲りすぎないのはもちろん他の生き物を獲らないよう工夫 したり環境を傷つけないようにしたりして漁をしているそうです。 (ラベルがついた商品があれば紹介してください)</p>
<p>エシカル消費</p>  <p>消費者 消費者が選ぶ ▶魚を食べ続けることができる。</p> <p>生産者 安心して漁師を続けることができる。</p>	<p>私たちが MSC 認証の水産物を選ぶことで生産者は安心して漁 師を続けることができ、消費者は将来的にも魚を食べ続けることが できます。</p>
<p>エシカル消費 の 目安になるラベルは 他にもあるよ</p>	<p>エシカル消費の目安になる国際フェアトレード認証ラベル、海のエ コラベル MSC 認証を見てきました。エシカル消費の目安になるラ ベルは他にもあります。例えば…</p>
<p>それぞれのラベルには どんな意味があるのかな？調べてみよう。</p> 	<p>このラベルです。見たことがありますか。今日はいくつか商品を持 って来たので紹介します。</p> <p>進め方のポイント</p> <p>講師がラベルのついた商品を持参して、その商品にラベルがつい ている意味を伝えるなど日常生活につなげる工夫をしたいで す。宿題として家庭でエシカルのラベルを探してその意味を調べる などもできます。</p>
<p>FSC® 認証ラベル</p>  <p>森林の環境保全に配慮し、 経済的にも持続可能な形 で採られた林産物につけ られる</p> <p>お家にはこのノート などについて、FSCのラ ベルを探してみよう</p> <p>写真提供 株式会社</p>	<p>例)</p> <p>こちらは FSC 認証ラベルです。森林の環境保全に配慮し、経済的 にも持続可能な形で作られた林産物につけられています。この写 真は浜松市の FSC 森林認証林で、「浜松城」および「浜松こども 館」にもこの木材が使われています。最近はお菓子の箱やノートな どでこのラベルを良く見かけるようになりました。</p>

<p>エシカル消費 は ラベルの商品を買っただけじゃないよ みんなの近くにある 人、社会、地域、環境のことを考えた エシカルな商品やお店を探してみよう</p>	<p>身近な商品でエシカルなラベルを探してみてください。 実は買い物でできるエシカル消費は、ラベルの商品を買う以外にもあります。地産地消やリサイクル品など人、社会、地域、環境のことを考えた商品を購入したり、そんな商品を扱っているお店を利用するなどです。地域の事業者を紹介します。</p>
<p>コアレックス包装株式会社</p> <p>再生紙の トイレトペーパーで 資源を大事に使い切る</p> <p>資源を有効活用して 伐採される森林を 減らすことができる</p>  <p>写真提供: コアレックス包装株式会社</p>	<p>例) こちらの事業者は、再生紙のトイレトペーパーをつくることで森林資源を有効活用して伐採される森林を減らしています。</p> <p>進め方のポイント 紹介する事業者は、地域の事業者(お店)だと児童生徒にとってより身近になります。是非授業の前に探してください。</p>
<p>有機・自然栽培のお茶 英光園</p> <p>農薬を使わない お茶づくり</p> <p>働く人の安全 たくさんの 生きものがいる</p>  <p>写真提供: 英光園</p>	<p>こちらの農家さんは、無農薬で化学肥料も使わないお茶づくりに取り組んでいます。飲む消費者も安心ですが、働いている人も安全です。農薬を使わないのでたくさんの生き物がすんでいます。</p>
<p>株式会社ノースグレイ</p> <p>国を超えて 障がい者の仕事を サポート</p> <p>静岡のおみやげとして販売する商品を 日本とラオスの障がい者作業所がつくるサポート</p> <p>みんなの働きがい</p>  <p>写真提供: 株式会社ノースグレイ</p>	<p>こちらの事業者は、日本とラオスの障がい者の作業所がそれぞれできることを持ち寄り、お互いに支え合い静岡のおみやげとして販売する商品づくりを支援しています。</p>
 <p>企業 持続可能な社会の実現をめざして人、社会、地域、環境のことを考えた商品やサービスをつくる</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>消費者 人、社会、地域、環境を 考えてエシカル消費をする</p>	<p>今日はエシカル消費についてみなさんと考えてきました。企業は持続可能な社会の実現をめざして人・社会・地域・環境のことを考えた商品・サービスをつくります。消費者は人・社会・地域・環境を考えてエシカル消費に取り組みます。これがSDGsのゴール12「つくる責任つかう責任」です。</p>
<p>みんなで持続可能な未来をつくらう!</p> 	<p>「つくる責任つかう責任」を実践することで持続可能な未来をつくりましょう。</p>

4. 講座実施の際の留意点

① ビヨンド SDGs を意識する

「ビヨンド SDGs」とは、文字通り SDGs の枠を超えて、2030 年以降を見据えた持続可能な社会づくりを目指す考え方と言われています。SDGs は2030年が過ぎれば終わりではありません。「未来の常識は何か」「そのために今できることは何か」など、SDGsが目指した持続可能な未来から考えることを意識して授業を展開してください。

② アクティブラーニングを取り入れることで効果的な講座にする

受講者が聴講するだけの講座では、学んだことが身に付きにくくなる場合があります。

そのため講師が一方向的に解説するのではなく、クイズを活用する、「皆さんは、どうですか?」「気がついたことはありますか」などと、参加者に問いを発するといった学習者に考えさせるアクティブラーニングの手法を取り入れることで効果的な講座が行えます。その際は、しっかり考える間をとりましょう。

学習者が周りとは話し合ったり調べたことを共有したりすることで、これまでになかった考えや視点に気づき、学びの質をあげる効果があります。

グループディスカッションや隣同士で話し合うペアワークなどを工夫して取り入れて実施しましょう。

③ 身近な情報を活用する

児童生徒にとって身近な商品・事業者などを取り入れて対象に応じた授業にしましょう。

④ 白地図とワークシートの活用方法

カカオの生産国を確認するため白地図を活用しましょう。講師は、生産国を読みあげてスライドで場所を示しながら、児童生徒は手元の白地図の生産国に色を塗って場所を確認します。そうすることでカカオの生産国が赤道に近い熱帯にあることに気づかせます。

児童生徒が主体的に授業に参加できるようワークシートを活用しましょう。ワークシートの設問は、授業スライドの中で、各自が考えたり話し合ったりする内容を中心にしています。設問は多めなので、対象に応じて抜粋して活用ください。設問は、一人で考えた後、ペア、グループ、全体で共有したり、最初から全体で考えたり、時間配分やクラスの様子などで講師が柔軟に組み合わせて対応してください。